

農業生産学部 農業総合学科 施設野菜専攻



収穫期を迎えたいちご



高所作業車を使ったトマトの管理作業

施設野菜専攻では栃木県を代表する施設野菜として、いちごとトマトを中心とした農業経営について栽培管理技術や経営管理手法等を学んでいます。

いちごでは、「スカイベリー・とちあいか・とちおとめ」など栃木県が開発した品種を取り入れ、土耕栽培や高設養液栽培など、最新の栽培技術を学んでいます。

トマトでは、次世代型最先端(高軒高)ハウスでのハイワイヤー方式による促成長期栽培や、養液施設での促成栽培に取り組んでいます。

ICT技術を活用した複合環境制御や栽培環境データの把握など最新のスマート農業技術等、より省力的で安定した実践経営に向けて、学んでいます。

農業生産学部 農業総合学科 花き専攻



ユリの出荷調整作業



シクラメンの鉢植え作業

花き専攻では、県内で生産される主要な鉢物・苗物や切り花について、その生理生態や栽培管理に関する基本的な知識を学ぶとともに、専攻実習を通して栽培管理を実践することで知識を深め、栽培技術をしっかりと修得します。

鉢物では、県内鉢物生産の基幹品目であるシクラメンを中心に、アジサイ、ポインセチアをはじめとした鉢花や胡蝶ランなどの洋ラン類、苗物類、また多種多様な観葉植物の栽培管理を学びます。

切り花では、LEDを利用したスプレーギクの開花調節技術やユリのプレルーティング技術をはじめとして、カーネーション、トルコギキョウ、ストックなど様々な品目の栽培管理を学びます。また、令和2年に新設された人工光・閉鎖型苗生産施設の「苗テラス」を利用して最先端の育苗管理を体験するとともに、ICT技術を活用して「ベンチ育苗室」の栽培環境をモニタリング把握するなど最新のスマート農業技術も学んでいます。